

第37回鹿児島県消防操法大会 長島町第四方面隊3位の好成績



8月28日、第37回鹿児島県消防操法大会が鹿児島県消防学校（日置市）で開催されました。

大会には、消防操法ポンプ車の部に、県内11の支部大会を勝ち抜いた精鋭たちが出場し、出水支部からは、長島町第四方面隊（蔵之元分団、指江分団、城川内分団）が出場しました。競技では、各支部の代表消防団が、迅速で正確な操法技術を競いました。場内に緊張感が漂う中、本町の選手らは、町の代表として、堂々とした操法を披露。見事3位に輝き好成績を収め、積み重ねた訓練の成果が発揮されました。

蔵之元分団の脇田裕樹分団長は「5月から取り組んできた練習で、県大会3位の素晴らしい成績を収めた要員たちを称賛したい」と話し、指揮者の坂口卓さんは「がんばった要員とそれを支えた仲間や家族に感謝したい」と喜びをかみしめました。今回出場した選手とタイムは次のとおりです。

〔指揮者〕	坂口 卓（蔵之元分団）
〔1番員〕	志戸岡翔太（指江分団）
〔2番員〕	門元 光生（蔵之元分団）
〔3番員〕	飯尾 諒平（城川内分団）
〔4番員〕	赤瀬 聖（指江分団）
〔補助員〕	増田 翔太（城川内分団）
第1線タイム	51秒06
第2線タイム	63秒92



操法開始、漂う緊張感



丁寧に収納



素早く余裕ホース作成



火点をめがけて正確に展張



第2線展張のために懸命に走る2番員